

いぶき

ふれあう笑顔

つながる未来

JA新あきた広報誌
Ibuki vol.124

特集

売れる米づくりに対応した二年を振り返る。
平成20年度事業報告

◎新あきたの旬

米、麦と並ぶ世界三大穀物のひとつ

『トウモロコシ』

誰でも
カンタンレシピ
ひき肉の
コーンだんご



2009.JUL

7

JA新あきた

平成20年度 事業報告



売れる米づくりに対応

農産物の安全・安心対策としてトレサビリティ制度を遵守し、記帳運動と生産工程を徹底的に管理した「新あきた米」の拡大を図るとともに青果物については、ホウレンソウなど重点品目野菜の作付け拡大など都市近郊農業の優位性を発揮し、消費者に信頼される高品質な農畜産物の供給など生産者と一体となった取組みが有利販売へと繋がり、組合員の農業所得向上に結びつけてきました。

また、生産調整水田の有効活用として飼料米やホールクroppサイレージの普及拡大を推進し耕畜連携による自給飼料の増産および独自の加工米にも取組みました。

概況

融資相談機能を充実

JAの業務機構については、組合員の声をより反映するため営農経済事業の業務機能を分割し、専任性を明確化することにより地域農業を主体的に担う生産組織への活動支援など生産振興の拡大を図りました。信用事業においては、地域の皆様や組合員の皆様への融資相談機能を充実させるため、ローンセンターを設置し、住宅ローンを中心に専門的な相談機能の強化でより一層のサービス向上に努めました。

主要な事業活動内容(要旨)

営農指導事業

稲作

- こだわり米の作付け拡大と品種別作付け誘導対策による売れる米づくりを推進しました。
- こだわり米作付面積 1,042ha(内訳あきたこまち760ha、めんこいな212ha、ひとめぼれ70ha)
- 地区別あぜ道講習会や広報活動を通じ品質向上を目指しましたが、1等米比率は92.4%でした。
- 収穫前契約及び酒造会社との独自販売米契約を締結し、有利販売に努めました。
- 直播栽培の普及拡大を図りました(32ha)。
- 新規需要米として「秋田63号」の実証展示圃の設置や肥料農薬展示圃を設け、現地指導を行いました。



野菜

- 「安全で豊かな食を守る」ために生産工程管理の実践と消費者、取引先に「安心」を届ける生産活動を実践しました。
- 重点推進品目7品目の作付け推進と品質向上と安定した生産量を確保する活動を実践しました。
- 集落営農組織、農業法人組織へ農業生産基盤の安定を目的に青果物定着化に努めました。



J A新あきたは、平成21年度 さらなる飛躍を目指します。

花き

■生産拡大プロジェクト2年目を迎えたダリアは市場との情報交換と視察研修により品種構成・規格の見直しを図り、有利販売に努めました。(出荷本数98,241本、販売高10,205千円)

■秋出しパンジーは、栽培期間の見直しを行い、有利販売に努めました。

果樹

■月例会・園地講習会等による技術研鑽と品質向上に努めました。

■市場、市内スーパーにおいて「追分なし」の試食宣伝活動を実施しました。

大豆

■安定した収穫量と品質の均一化を目指した現地指導活動に努めました。

■取引先との交流研修を通じ信頼ある大豆生産と販売に努めました。

■作付け拡大に伴う機械化整備に努めました。(播種機、カルチ、選別機、コンバイン等の導入)

畜産

■預託事業を推進し、地域内一貫体系を図りました。

■WCSの普及拡大と飼料用米の試験を行い低コスト経営を推進しました。

■生乳の乳質改善と高品質生産を推進し計画生産を図りました。

彩菜館

地産地消活動を通じ、豊かな環境づくりをすすめる安全・安心・新鮮な農産物を提供し、あわせて生産者の所得向上に努めました。

生活指導事業

■J A運営への女性参画を促すことを目的とした「J Aかがやき女性塾」を5回開催し、延べ149名が受講しJ A事業の学習や菜の花の種まき体験などを行いました。

■J A組合員総合健康診断の実施と事後指導を行い、生活習慣病の予防と健康管理に努めました。

教育情報事業

■WTO農業交渉対策緊急全国代表者集会、原油・肥料・飼料高騰対策全国代表者緊急集会等、農政課題に対する運動を展開しました。

■集落組織の経営安定と相互の連携を図るため研修会及び交流会を開催しました。

購買事業

営農指導と連携した経済渉外体制の確立に努め、生産資材等に関する相談並びに情報提供やコスト低減に向けた取り組みを進めました。

農機具センター事業

展示会や種苗交換会等のイベントを中心に事業を展開しました。

信用事業

個人貯金残高の伸長を目指し、年金振込の口座指定獲得や団塊世代の大量退職に対応した施策を講じてきました。

貸出金に関しましては、迅速審査で簡便な手続のローン商品の開発や休日ローン相談会の開催に努めました。



共済事業

組合員・利用者および地域住民の多様なニーズに対応し、利用者満足度の向上を目指し、「生命共済・自動車共済への取組み強化」「普及基盤の拡大」「保有維持に向けた取組強化」を重点取組事項として事業展開しました。

宅地等供給事業

不動産経営友の会への相談機能の強化と棚卸資産の流動化並びに有効活用に取り組ましました。

旅行センター事業

海外旅行は「合併10年企画イタリア6日間」を取り組み、組合員をはじめとすると多くのお客様の参加をいただきました。

介護事業

住み慣れた地域で多くの方々安心して過ごしていただくようにサービスの質、量の向上を目標に居宅介護支援、訪問介護、デイサービス事業を実施しました。

対処すべき重要な課題

1. 農業振興計画の実践による農業経営の安定化に向けた取組み
更なる担い手育成の強化と支援体制の拡充を図り、農地利用集積による水田有効活用へ取組むなど地域農業の生産基盤を強化します。

生産調整メニューの多様化を図るため、大豆・飼料作物を主体に飼料用米等新規需要米にも積極的に取組みます。都市近郊の地の利を活かした青果物の産地化を促進し農業所得の確保に努めます。

2. 地域に根ざした安全・安心な「食」と「農」への取組み
消費者の目線に立った安全・安心・高品質な農産物の提供と、「食」と「農」をつなぐ食農教育の実施や、農産物直売施設の早期設置を行政に要望するなど地産地消への取組みを強化します。

3. 経営リスクに対応可能な業務執行の確立へ向けた取組み
経営リスクに対応可能な内部統制システムの確立と、実行性のあるコンプライアンス個別取組計画の策定により役員員の法令遵守意識の徹底を図り、不祥事未然防止に努めます。

4. 繰越損失金の解消へ向けた取組み
平成21年度計画の着実な実践に加え、経費の節減による事業取支率の改善を図り、さらに事業管理費の圧縮等により繰越損失金の解消を目指します。



組合のすがた

[H21.3.31現在]

- 組合員**
- 組合員…7,913人(戸数 7,470戸)
- 准組合員…7,865人(戸数 7,139戸)
- 計……15,778人(戸数14,609戸)
- 出資金**
- 当期末払込済出資総額…36億8,603万円
- 役職員**
- 理事……17人(うち常勤4人)
- 監事……5人(うち常勤1人)
- 職員……299人

主要事業の取扱実績 [H20.4.1~H21.3.31]

項目	取扱実績
貯金(期末残高)	868億442万円
預金(期末残高)	422億3,292万円
貸出金(期末残高)	385億8,250万円
有価証券(期末残高)	3億2,274万円
借入金(期末残高)	1億4,290万円
長期共済保有契約高	3,462億909万円
購買品取扱高	26億3,158万円
販売品取扱高	53億5,304万円
旅行取扱高	9,339万円
指導事業費(支出)	5,653万円

詳しくは各事業所へ備え付けの「通常総代会資料」をご覧ください。なお、次号では平成21年6月24日開催の「第10回(平成20年度)通常総代会の報告」についてお知らせ致します。



身近な情報、お得な情報盛りだくさん!! ニュース&トピックス

1. 種苗交換会秋田市協賛会設立総会
2. 小学生がバケツ稲に挑戦
3. 梨の圃場巡回
4. JA新あきた版農業電子図書館が稼動
5. 女性部野菜研修会
6. ダリア栽培研修会
7. 全農あきたホームページで新あきたを紹介

種苗交換会の 主会場はアルヴェ

10月30日から11月5日まで秋田市で開かれる第132回種苗交換会の地元運営組織となる市協賛会の設立総会が5月20日(水)、シャインプラザ平安閣で開かれました。

行政、農業、商工関係者ら47人が出席し、主会場を秋田拠点センター・アルヴェとする事業計画を承認。総力を挙げて成功を目指すことを確認しました。

秋田市で交換会が開かれるのは2000年以来、9年ぶり41回目。穂積志市長は「種苗交換会は、生産者たちの日々の努力を消費者に伝える機会。農業のみならず本県の商工業の発展につながる行事にしたい」とあいさつされました。

事業計画では、主会場のアルヴェで農産物の出品展示を行うほか、ぼろーどや買い物広場などJR秋田駅前や学校農園展や産米改良展、中通の日赤・婦人会館跡地で植木・盆栽市、新屋の旧秋田空港跡地で農業機械化ショーなどを行うこととしました。



●事業計画などを決めた種苗交換会の秋田市協賛会設立総会

小学生が稲作学ぶ 毎週観察ノート

雄和地区の種平小学校は5月22日(金)、バケツ稲の田植えを行いました。同校5年生4人が、新あきたの営農指導員から手ほどきを受け、チャレンジしました。

家に田んぼがあっても、実際に苗を植えるのは初めての子どもが多く、熱心に営農指導員の話に耳を傾けていました。

児童らは今後、毎週観察ノートに葉令や草丈、気付いたことなどを記録し、収穫まで続けます。新あきたでは、子どもたちに農業に対する理解と関心を深めてもらうため、バケツ稲づくりを支援し交流を続けていきます。



●楽しみながらバケツに苗を植える子どもたち

梨圃場を巡回 摘果の要点確認

果樹部会なしぶどう部は5月22日(金)、下新城中野地区で梨の圃場を巡回し、摘果の注意点を確認しました。部会員、秋田地域振興局、市場、JAの担当者ら10人が参加しました。

振興局の担当者は、①粗摘果は6月中旬には終える②受粉後40日ごろから果形をよく吟味して行う③最終着果量の20〜30%増し程度の着果数に調整することなどを呼びかけました。日本梨の新品種「南水」「あきづき」の摘果と新梢管理についても説明しました。

8月下旬には主力品種の「幸水」「豊水」などが出荷のピークを迎えます。



●生育状況を確認する参加者

農業電子図書館が稼働 病害虫の検索が簡単に

新あきたは合併10周年記念事業の一環として5月25日(月)より、「JA新あきた版農業電子図書館」を管内7営農センターとグリーンセンター、ファーマーズマーケット「彩菜館」に設置しました。

的確な病害虫診断や農薬選択など豊富な情報量で、営農を支援していきます。

近年の農薬取締法改正やポジティブリスト制度の導入などで農薬の使用・選定が難しくなる中、時代に即したサービスで窓口対応を充実させるのが目的。

農薬情報は毎月更新となり、常に新しく正確。「現代農業」の記事や栽培技術など、さまざまな資料が充実しています。タッチパネルで簡単に操作できます。

営農指導員からは「パソコンに不慣れな方でも簡単に操作できる」と話していました。



●デモンストレーションで操作する職員

野菜栽培管理の ポイントを学ぶ

女性部は5月27日(水)、上北手コミユニティーセンターで、野菜研修会を開き、部員14人が参加しました。春に定植した野菜が収穫時期を迎えることから、栽培管理のポイントを学びました。

新あきた園芸畜産課の担当者はナスやスイートコーン、キュウリ、ハクサイ、ネギなどの施肥や農薬散布、水管理などを説明しました。「野菜づくりは間に合う、間に合わないではなく、安全で新鮮な食材を作り、美味しいものを食べるという意識で作ってほしい」と話していました。



●講師の説明に耳を傾ける参加者

高品質の ダリア生産に向けて

花き部会ダリア班は6月4日(木)、畑の準備や土壌改良・施肥法を学ぶと雄和地区の秋田国際ダリア園で栽培研修会を開き、生産者をはじめ県や市、JAなど約30人が参加しました。

講師の秋田国際ダリア園鷲澤代表により、定植の際、球根のクラウン部分を上にし、地表から指2節分約5cmの所に植え込むなどのアドバイスがありました。

現在、管内で生産されているダリアは露地栽培が中心ですが、開花時期の風雨や霜対策のため、育苗ハウスを活用して栽培する農家も出てきており、今後、新あきたでは栽培方法等を工夫するなどの指導をしていくこととされています。また、栽培品種を決定するため、ダリア園で開花した実際の花を見て球根を購入するほか、他県のダリア園地や花き市場の視察などを行い、市場ニーズの把握に努めていきます。



●鷲沢代表の説明に耳を傾ける参加者

全農あきたホームページで 新あきたの取り組みを紹介

6月12日(金)、飯島ふれあい加工所と稲作部会長の斉藤渉さんがバリトン伊藤さんの取材を受けました。

これはJA全農あきたホームページ「秋田米.com ごはんのふるさと秋田から」で紹介するのが目的。会場の加工所と部会長の自宅にはカメラや集音マイク、照明が並び、緊張感あふれた空気に、バリトンさんの秋田弁でのトークで、収録が行われました。

加工所の代表宇佐美孝子さんによる五目おこわの調理風景、斉藤部会長の秋田米生産にかける思いなどがインタビュー形式で行われました。

また、ファーマーズマーケット「彩菜館」では店内風景も撮影されました。この模様は、全農あきたホームページ内「飯どろぼう」「環境・感動ダイアリー」「おらほの自慢」のコーナーにて紹介されています。



●できあがった五目おこわを囲み記念撮影

秋田の農業人

おいしさと元気を届ける米の加工品 飯島ふれあい加工所



- 販売品目：朝採り野菜、加工品（赤飯、おにぎり、巻きずし、いなりずし、五目おこわ、しょうゆおこわなど）
- 営業時間：ふれあいランド飯島販売所は5月末～11月。火・木・土曜日の朝8時から売り切れまで。
（秋田組合総合病院の敷地内での販売は、年末年始を除く通年の火・木曜日の朝8時からお昼ぐらまで）
- 会員数：8人
- 代表：宇佐美 孝子さん

自慢の米を多くの人に食べてもらいたい、と加工所を立ち上げた稲作農家の女性たちが、赤飯、おこわ、すしなどを田んぼの真ん中にある直売所と病院の敷地内で販売。「おいしい」の言葉を励みに、朝の2時からがんばっています。

Q加工所に取り組んだきっかけは？

女性部で会員を募り、「ふれあいランド飯島販売所」で野菜の直売活動を進めていました。直売所を充実させるためにも、お赤飯などおいしいお米を使った加工品を置きたいと考え、それにはちゃんとした加工所が必要だということになりました。

平成11年に、直売所の会員だった女性部員20人に声をかけ、10人が「やろう」ということになりました。

Q加工所をはじめてからは？

当時のメンバーは、50代から60代前半でしたから、やる気満々。みんな稲作主体の農家でしたので、労働力に余裕もありましたし、孫の世話もひと段落している人が多くちよっぴよかったです。

まず問題となった加工所をどうするかについては、会員の田村和子さんが、家の車庫を使わせてくれることになりました。会員は平等に運営に当たろうと、1人10万円の同額出資をし、後は新あきたから180万円の融資を受けて、12年9月に改築工事に着手。13年には販売にこぎつけました。

長続きの秘訣は透明性と何事も平等にすること

Q気をつけていることは？

この会が長続きしているのは、仕事の全部を透明性をもってやっているからだと思っています。売り上げはみんなで勘定し、月1回収支の報告もします。会計や仕入れ、出勤の確認など1人1役があつて平等、給料もみな平等です。

時給いくらとは決めていません。和をつくるのがうまいとか、それぞれ役どころがありますから。



だめで元々で病院にアタック

Qよかったことは？

加工所を立ち上げた翌年、秋田組合総合病院が直売所のまん前に移転してきました。病院に来る人たちがお客さんになってくれたのですが、道を隔てているので危なくて、お客さんを道路の反対側まで送ったりしたこともありました。それで、だめでもともとと思って、思い切つて病院の敷地内で売らせてほしいとお願したところ、病院側に承諾され、許可を受けることができました。

田んぼの中の病院で、病室から見えるものは出羽丘陵の山と田んぼだけ。そこにお母さんたちが、にぎにぎしくおすしなんかを売っている姿を見ると、なんだか元気が出ますと、感想をもらうなど、見舞いに来る人や家族にも、昼食に便利と喜ばれているようです。病院前でも販売するようになり、売り上げもグンと伸びました。

Q今後の抱負は？

現在二千万円を超えない程度の販売体制で、これからも無理なくがんばりたいです。

米、野菜を共に作る喜び、食する美味わう喜び、加工販売と、やる気、元気のある人には無限の可能性があり、夢がもてるということを、若い人たちに伝えていきたいです。後継者の育成、技術の向上、新商品の開発など、たいへんなことがあります。ありますが、楽しいとみんな口をそろえて話してくれます。

米、麦と並ぶ世界三大穀物のひとつ

新あきたの旬『トウモロコシ』

トウモロコシの主な成分は炭水化物ですが、胚芽の部分には脂質、ビタミンB1・B2、ビタミンEを多く含む栄養豊かな野菜です。

そしてもう一つ、意外にも多いのが食物繊維です。トウモロコシをかじった後、歯にカスが残って困ることがあります。

あれがよいのです。食物繊維の量は、フキ、セロリよりもずっと多く、便秘の改善や大腸がんの予防に役立ちます。

トウモロコシの一粒一粒には、子どもの成長を促し、また若さを取り戻すパワフルな栄養素が詰まっています。

ただ、収穫した後鮮度が落ちるのが早いのがウィークポイント。

一日たつと鮮度が半減しますから、手に入れたらすぐに調理して食べるのが、おいしさと栄養を生かすコツです。



●誰でもカンタンにできる「トウモロコシ」の美味しいレシピご紹介

今月のオススメレシピ①

コーン入りおやつ蒸しパン



●材料(4人分)

小麦粉 ……2カップ
ベーキングパウダー ……小さじ2
卵 ……2個
牛乳 ……3/4カップ
砂糖 ……大さじ2杯
塩 ……小さじ1/2
バター ……40g
コーン ……大さじ4
干しブドウ ……大さじ2
プロセスチーズ ……20g
ほかに型に塗るバター少々

●作り方

- ①コーンはゆでて、粒をはずし、干しブドウは熱湯につけて、やわらかく戻す。チーズは5mmのあられ切り、バターは湯せんにかけて、溶かしバターにする。
- ②小麦粉とベーキングパウダーを合わせて、ふるいにかける。
- ③ボウルに卵を割り入れ、泡立て器で溶き、砂糖、牛乳、塩を加えて混ぜ合わせる。泡立て器をゴムベラにかえて②を加え、ざっくり混ぜ合わせる。
- ④溶かしバターを手早く混ぜて、コーン、干しブドウ、チーズも加え、もうひと混ぜする。
- ⑤蒸し型に指でバターを多めに塗って、④を8分目くらい入れる。
- ⑥蒸気を上げている蒸し器のフタにフキンをかませ、15分くらい蒸す。竹串を刺してみて、生の生地がつかなくなれば蒸し上がり。
- ⑦あら熱をとり、型からはずす。

今月のオススメレシピ②

ひき肉のコーンだんご

●材料(4人分)

トウモロコシの粒 ……200g
(または冷凍粒コーン)
豚ひき肉 ……200g
干しエビ ……10g
干しシイタケ ……2枚
長ネギ ……1/2本

◎A

しょうが汁 ……少々
カタクリ粉 ……大さじ3
しょうゆ・酒 ……各小さじ2
塩・砂糖・ゴマ油 ……各小さじ1/2
キャベツ ……2枚
からししょうゆ・ポン酢 ……各適量

●作り方(1人分約223kcal)

- ①エビとシイタケはぬるま湯でもどし、みじん切りにする。ネギもみじん切りにする。
- ②ボウルにひき肉を入れ、①と①のもとし汁大さじ2とAを加えて混ぜる。
- ③②を24等分して丸め、トウモロコシをまぶして、しっかり握ってつける。
- ④蒸し器にキャベツを敷いて③のだんごを並べ、強火で約15分蒸す。
- ⑤器に盛り、キャベツは粗く切って付け合わせ、からししょうゆやポン酢でいただく。



あなたの暮らしを、私たちが応援します!!

我らみんなの、暮らしの応援団

金融
インフォメーション

貯金を通じて地域貢献に参加しませんか!?



金融推進課 課長
佐藤 広美

6月15日よりJA新あきた各支店で、サマー貯蓄キャンペーンが始まりました。今回のキャンペーンは、新あきたの合併10周年を記念いたしまして、社会貢献型定期貯金「ハートフルサポート」を提案させていただきました。お客様が定期貯金「ハートフルサポート」を通じて、地域の皆様が安心して生活できる福祉の町づくりを応援し、福祉活動に参加していただける商品となっております。

【キャンペーン期間】
6月15日(月)～8月31日(月)

お預入時の店頭金利+0.2%

※お利息には20%の税金がかかります。

◎詳しくはお近くのJA窓口へお気軽におたずね下さい。

〈社会貢献型定期貯金〉ハートフルサポート

- ご利用対象者・・・ 個人のお客様で趣旨にご賛同いただける方。
- お預入金額・・・ 20万円以上1,000万円未満(他金融機関からの預け替えのみ) 一人様何口でもお申し込みいただけます。総額での上限はありません。
- お預入期間・・・ 1年(自動継続式) ※但し、2年目からは継続時の店頭金利となります。
- 寄付金について・・・ 平成22年5月31日現在の「社会貢献型定期貯金」の残高0.005%相当額を社会福祉法人「秋田市社会福祉協議会」に寄付いたします。 ※寄付によるお客様の負担はありません。
- 中途解約・・・ やむを得ず中途解約される場合には、所定の中途解約利息が適用されます。
- その他・・・ 継続書換や期日前解約による再預入は対象になりません。



購買
インフォメーション



火災警報器の取付が法律で義務付けられました!!



建物火災の約6割が住宅火災となっており、犠牲者の約7割が発見遅れによる逃げ遅れとなっております。

特に就寝中の火災に関しては、深刻な人的火災になりやすく、火災警報器の取り付けが近年義務化されたのもこのためです。



購買課 課長補佐
鎌田 徹

火災で助かるかどうかは早期発見が決め手! 早期の設置をおススメします。

パナソニック 煙単体タイプ 《SH4500P》



電池は約10年の長寿命

寝室 階段

1ヶ所 **3,900円**(税込)

取付料込み!!

わかりやすい声と警報音でお知らせ!

火災はいつおきるかわかりません。あなたの大切な家族を火災から守るためにこの機会に取付ましょう!

◎取付工事にはJA新あきた指定業者がお伺いいたします。また、ご自分で取り付けられる場合は、**1ヶにつき200円引き**とさせていただきます。

お申し込みは最寄りの各営農センター、もしくは購買課 TEL.832-6658まで

知って得する

農宮



北宮農センター
鎌田 雄介

良質の米を収穫するためには、これから行う中干しは、倒伏防止および無効分げつ抑制のために重要な技術です。有効茎数を確保した時点で直ちに中干しを開始出来るよう、早期有効茎の確保に努めましょう。

アワドンポイント

今月のテーマ

稲作

○今後の水管理

米の品質向上のために適期中干しを行いましょ。

土中に溜まった有害ガスを取り除いて無駄な分げつを抑え、土壌を引き締め倒伏を防ぐ効果があります。

開始の目安は移植の約1ヵ月後ですが、目標となる茎数、あきたこまちであれば21本程度になったら中干しを開始してください。

期間としては7〜10日です。程度は小ヒビが入る程度を目安としましょう。

中干しは幼穂形成期（出穂20日前）までに終了し、その後は徐々に間断かん水の管理を行います。

幼穂形成期〜出穂期にかけては水を必要とする時期であり、中干しを続けていると1穂粒数の減少につながるので注意が必要となります。

美味しいお米を食卓に!!



○倒伏させない追肥を

葉色が淡いからといって幼形期や減分期に追肥をしますと倒伏につながる可能性が大きいので穂肥は慎重に行いましょう。また追肥は必ず7月中には終わらせるようにしましょう。目安としては、葉色が淡い場合にあきたこまちで窒素成分で幼形期で1kg程度、減分期で1〜1.5kg程度ですが、葉色が濃い場合はやらないようにしましょう。

○葉いもち・カメムシ防除

育苗期防除及び葉いもち予防剤オリゼメートを実施した圃場でも、定期的に圃場を見回り、今後の発生情報に注意してください。もし発病が見られた場合、治療剤と予防剤の混和剤（ブラシン等）で防除を行ってください。

また今後のカメムシ対策のためにも7月中旬での畦畔・農道の草刈りを徹底しましょう。

昨年被害が見られた稲こうじ病にも注意が必要です。前年発生圃場では発生率が高いので、出穂前10〜20日にZボルドー粉剤等の散布を行ってください。

近年クサネムの種子が玄米に混入してしまい、等級が規格外となってしまうケースが見受けられます。クサネムを圃場で発見した場合、速やかに抜き取るようにしてください。



●圃場に生えたクサネム

●今後あぜ道巡回を行う予定

「あきらめていませんか？」

あなたは、疲れたり、ゆっくり眠りた
いとき、どこが一番落ち着きますか。
そして、人生を全うし旅立とうとい
う最後の時間を、どこで過ごしたいで
すか。

あなたは、障害や病気のために、住み
慣れた我が家で過ごすことをあきらめ
ていませんか。

2003年の厚生労働省の調査では、
最後の時を過ごしたい場所は住み慣れ
た我が家が一番でした。しかし、障害や
病気のため、そして家族環境や社会的
背景で残念ながらあきらめている方が
7割近くいるのです。

確かに、我が国は急速に高齢化して
おり、4人に1人が65歳以上という未
だかつてない高齢化社会を迎えると予
想されています。そして高齢者や障害
者を支えてきた家庭や地域社会の相
互扶助機能が核家族化や価値観の多
様化により低下してきています。特に、
秋田県などの地方では、高齢化が急速
に進む一方で、その高齢者を支えるは
ずの家族が仕事などの理由で都市部へ
移動することにより、老々介護や一人
暮らしなどの問題が激増していること
も事実です。

しかし、あきらめる必要はありません。
この厳しい社会情勢の中で、病院だけ
なく、訪問看護ステーションや居宅介護
支援事業所および社会福祉施設などが、
職種の垣根を超え、役割分担しながら、
多職種の関わるチーム医療・介護連携
を行っています。「病気になっても安心し
て自宅で過ごせる」そして「最後まで有
意義に家族と一緒に過ごせる」環境が徐々
に出来上がってきているのです。

障害があっても、この連携システムや
介護保険・福祉サービスを利用すること
で、自宅で過ごすことは不可能ではあり
ません。

在宅緩和ケアも日々進歩しておりま
す。実際、住み慣れた自宅に帰ること
心が穏やかになり、病院では抑えること
の出来なかつた「がん」による痛みが、楽
になるケースも希ではありません。慣れ
親しんだ御部屋で眠ることで、睡眠薬な
どがいらない方も多いようです。御
家族にとっては、病室で付き添うよりも
自宅の方がストレスを感じないというデ
ータもあります。



秋田組合総合病院
脳神経外科科長
地域医療連携室

桑原 直行

住み慣れた我が家で自由に穏やか
な時間を家族と一緒に過ごせることが、
一番だと思いますか。

あなたも、無理だとあきらめる前に、
1日でも多く住み慣れた自宅で過ごす
ことができないうか医療相談室、併設の
居宅介護支援事業所や訪問看護ステ
ーション、地域医療連携室に相談して
みてはいかがでしょうか。

医療とは医療を使い病気を治すこ
とと辞書には書かれています。いかに
医学が進歩しようとな不治の病や障害
がなくなることはないでしょう。しかし、
我々はあなたを障害や病気が治らない
ものだからと言つて見捨てることはあ
りません。

なぜなら医療は、あなたを支えるも
のへと進化しているからです。
あなたと御家族と、そして我々と一
緒に支え合つて生きる一歩を踏み出し
てみませんか。

オススメ
得する
対策
etc.



飼料用タンクで鍛える!!

かるやか体操 養豚農家向け(2)

●指導・監修/日本体育大学運動方法体操研究室教授 荒木 達雄

今回は、豚の餌入れで肩や腕の筋肉を鍛える運動です。
体操中は鍛えている部分を意識してください。

写真の餌入れは重さ約1kgのものです。始めから激し
く振ると筋肉を傷めてしまうので、ゆっくりと振り少しづつ
慣らしていきましょう。

「かるやか体操」は、日本農業新聞が冊子にまとめ販売しています。水稲
・畑作・露地野菜・施設野菜、果樹、畜産、花き、農産加工・・・と、経営品目や
作業別に写真で紹介しています。 定価は420円

■お問い合わせ・・・日本農業新聞販売管理部 TEL.03-5295-7407

養豚農家におすすめの「かるやか体操」を紹介します



①左手で餌入れの取っ手を握り、
前後に振ります。脚は前後に
広く開きます。



②数回振ります。餌入れが肩の
高さになるくらいまで上げま
しょう。



③筋肉のバランスが取れる
ように、右手も鍛えましょう。

いつも元気に百歳食

暑気あたりを防ぐウリ類

●食文化史研究家 永山 久夫

水菓子の恋しい季節です。昔の人は、桃や梨、ウリなど、水分が多くて甘い果物のことを「水菓子」と呼んでいました。

この水菓子は、江戸時代になると栽培技術も向上。品種も増え、夏の人気商品として、ちよつとしたブームを呼びます。

特に人気を呼んだのがマクワウリとスイカです。町には包丁で適当な大きさに切って売る商人も出現し、スイカの場合は「スイカン、スイカン」とか「スイカンヤ、スイカン」などと呼び売りしていました。面白い川柳も残っています。

『井戸の瓜でうち大骨折って上げ』
井戸につるして冷やしたウリを、奉公人が苦勞しながら引き上げていくという意味です。

『大騒ぎ井戸へ西瓜を下落し』
こちらはスイカの川柳で、井戸の中へドボンとスイカを落として、大騒ぎになっています。

古くからウリ類は、日本人の好物でした。ウリ科のヒョウタンが縄文時代の遺跡から出土していますし、マクワウリの種子は弥生時代の遺跡から発見されています。那馬台国の

女王・卑弥呼も甘いウリに目を細めながら食べていた可能性がります。

そして奈良時代の『万葉集』にも山上憶良の「子らを思う歌」の中に次のような「節」があります。

『瓜はめば子ども思ほゆ』

ウリを食べると、子どものことが思われてならないという内容で、甘い水分をたっぷり含んだウリは、子どもたちも大好物だったのでしよう。

ウリという名称は、のどを「うるおす」からきたという説があるほど水分が多く、約90%が水分です。暑さによる体のほてりを鎮める効果があるとされます。スイカの赤い色素はリコピンで、夏バテを防ぎ、細胞の老化やがんの予防にも役立つといわれています。



新あきた 知って健康

健康百科

お年寄りと熱中症

●佐久総合病院名誉院長

松島 松翠

夏は「熱中症」に注意が必要です。

特にお年寄りは屋外だけでなく、室内にいるときも熱中症を起こしやすい、症状が重くなりがちです。暑いとき少しでも体調がおかしいと感じたら、熱中症を考えてみてください。

熱中症は、次の3段階に症状が分けられます。軽度の●度では、めまい、立ちくらみ、こむら返り。中程度の○度では、頭痛、吐き気、体のだるさ、重症化した◎度では、ふらつき、立てない状態、意識障害などが起こります。必ずしもこの順番に起こるのではなく、発症したときに、すでに○度、あるいは◎度になっている場合がよくあります。

では、どうしてお年寄りは熱中症を起こしやすいのでしょうか。原因としては、体温調節機能の低下が挙げられます。暑いときには末梢(まっしゅつ)の血管を拡張させて体温を調節しますが、その働きが低下しているためです。

さらに、筋肉や血流量の減少により、体全体が慢性的な水分不足の状態に



なっています。また、暑さやどのの渴きを感じにくいので、暑さへの対処や水分補給が遅れがちになります。

これらの予防法は、まず室内が高温多湿にならないよう、換気などに気を配ります。そして外出時には、通気性や吸水性の良い衣服を着て、全周にっばのついた帽子や日傘で直射日光を遮りましょう。

のどが渴いたと感じたときには、すでに脱水状態になっている可能性もあるので要注意です。のどの渴きを感じなくても、小まめに水分や塩分を補給することが大切なので、スポーツドリンクなどを飲むのが適しています。

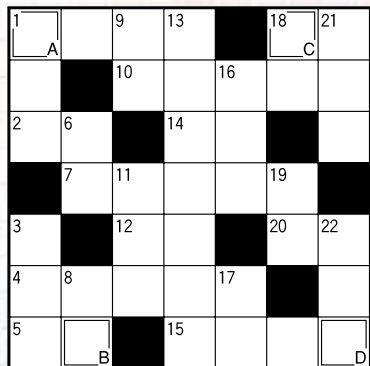
この場合、アルコール飲料やカフェインを含む飲み物には、利尿作用があるので水分補給には向いていません。お年寄りの場合は、睡眠中に熱中症を起こすこともあるので、寝る前にも水分の補給をしましょう。

※●◎部分はローマ数字での表記となります。●はローマ数字の1、○はローマ数字の2、◎はローマ数字の3が入ります。

頭の体操 クロスワードパズル

Q. 二重マスの文字をA~Dの順に並べてできる言葉は何でしょうか?

●出題/ニコリ



■タテのカギ

- 1 ... オムレツの主な材料
- 3 ... 道路に沿って植えられています
- 6 ... 人や動物や車が通ります
- 8 ... ——で答えたら正解しました
- 9 ... 道路を走る公共交通機関
- 11 ... さらに高みに上ろうとする人が心に抱いていそうなもの
- 13 ... 将来大物になるんです
- 16 ... 作曲とともに ——もする音楽家もいます
- 17 ... 数え始めは、たいていこの数から
- 18 ... ——産 —— 文化 ——
- 19 ... ゆったり、安らかな状態
- 21 ... 鳥や動物のカップル
- 22 ... パンをもう一度焼いて作るお菓子

■ヨコのカギ

- 1 ... 天の川を渡って年に一度のデートの日
- 2 ... 行楽地で捨てずに持ち帰りましょう
- 4 ... まだ出来上がっていないんです
- 5 ... 優勝者のメダルの色
- 7 ... 湯飲みの中で幸運を告げるもの
- 10 ... 絵の具を溶いたり、筆を洗うのに、水を使う絵
- 12 ... エンピツの —— が折れたら削りましょう
- 14 ... 皇室の紋章の花
- 15 ... 漢字で書くと「無花果」食べる部分は実は花なんです
- 18 ... 丁寧でない仕上がり
- 20 ... コガネムシが建てるもの?

★当選者
渡辺 節 子さん (下浜)
小野 秀悦さん (添川)
松田 萬紀子さん (泉)
おめでとうございます

【6月号の答え】
ウ デ ド ケ イ

▼クイズにご応募ください▼

【プレゼント】正解者の中から抽選で賞品を差し上げます。
【応募方法】ハガキにクイズの答えと住所・年齢及び今月のテーマについて一言書いて送ってください。
【締め切り】7/14日(火)
◎応募は右記まで。

案内板

官製ハガキの裏にクイズの答えと上記の今月のテーマについてご記入の上、お送りください。多数の応募お待ちしております。

- FAXから 018-832-6622
 - Eメールから kikaku-4@ja-shinakita.or.jp
- JA新あきた総務課 教育広報係まで

答え
住所
氏名
年齢
今月のテーマについて一言お書きください。

50 010-0877
秋田県秋田留町2-1-40
JA新あきた
総務課
教育広報係

※JAに寄せられたお便りの住所・氏名・年齢・職業などの情報は広報活動以外で使用することはありません。

ふれあいメール

6月のテーマ 「旅行」



読者とのコミュニケーションの場

JA新あきたの皆さん毎日お疲れ様です。いぶき6月号では、新あきた旬「トマト」の美味しいレシピをありがとうございました。これから色々な野菜ができるので、またいぶきに載せてください。
(雄和 Iさん 60代)

■今月のテーマは『わたしの宝物』

宝物って誰にでもありますよね。ずっと大切なあの人。あの場所。あのこと・・・などなど教えてください。今月は「わたしの宝物」をお待ちしています。掲載させて頂いた方の中から、抽選で3名の方へ粗品を進呈いたします!皆さんからのたくさんのお便りお待ちしております!!

旅行といえば、ここ何年も行ったことがありません。思い出として子供達と一緒にいった旅行は、今でもはっきりと覚えています。そして楽しかったこと、本当に良い思い出となりました。
(河辺 Tさん 60代)

友達と6月に電車で日帰りの温泉旅行をしようと思っています。年齢を重ねるとそんな楽しみが一番ですね。
(泉 Mさん 60代)

また北海道へ旅行に行きたいです。今まで4回ほど行きましたが、まだまだ見たい場所がたくさんあります。雄大な山々と、どこまでも続く長い道、ひょこりキタキツネに出会ったりして。
(下浜 Wさん 40代)

毎年、孫の夏休みにリゾート白神で行く日帰り旅行を楽しみにしています。ボックスを利用した列車の旅もいいものです。今年はどこで下車して、爺、婆、孫の3人で過ごそうかと今からワクワクしています。
(金足 Nさん 60代)

私はJA旅行センターさんの企画「飛鳥I号」に乗船して、夫婦ゆったりとした時間が持てたことが最高の思い出です。1年目は金沢方面、2年目は釧路方面へ、出来れば「飛鳥II号」でまた旅することを楽しみに農作業に励みたいと思っています。
(金足 Nさん 60代)

■JA新あきたのあゆみ

◎5月

5月11日… 秋田県JAグループ米計画生産出荷契約 積み上げ推進大会	(秋田テルサ)
13日… 役員推薦会議	(JA新あきた会館)
14日… 生活協同組合連合会コープネット事業連合 虹の協力会「第7回定期総会 交流会」	(東京 椿山荘)
15日… 第2回監事会	(JA新あきた会館)
20日… 第132回種苗交換会秋田市協賛会設立総会	(平安閣)
◇ … 体験学習(大館第一中学校)	(種沢ファーム)
25日… 農業電子図書館オープン	(JA新あきた各営農センター)
26日… 役員(理事)候補者協議会	(JA新あきた会館)
◇ … 役員(監事)候補者協議会	()
◇ … アスパラガス先進地研修	(JA秋田ふるさと)

■人 事

■異 動

5月1日… ローンセンター センター長補佐 中島 光則(旧任:農協ビル支店 副支店長)
◇ 農協ビル支店 副支店長 田口 一樹(旧任:ローンセンター主任)
7日… 農業ビジョン推進課 高齢者福祉事業所 藤田 景子(旧任:債権管理課)
11日… 農協ビル支店 副支店長 佐々木 一(旧任:金融推進課 課長補佐)

■退 職

4月30日… 農業ビジョン推進課 高齢者福祉事業所 藤原 松子
5月29日… 債権管理課 藤田 和彦
31日… 金融推進課 荻原 正明

●編集後記

平成21年の種苗交換会は地元秋田市で開催されます。開催期間中たくさんのイベントがありますが、メインは何といっても農産物展示です。前年のにかほ市では地元から約1,000点の出品があったそうです。青果物は10月、11月の収穫期を見据えた場合、6～7月が種を播く時期です。「みんなで参加しよう」を合言葉に、地元開催を盛り上げる、成功させるためにも多くの組合員の皆様からの農産物出品をお願いします。(中川)

和田給油所を閉店します

この度、ご愛顧頂きました和田給油所を6月末日をもちまして閉店させて頂く運びとなりました。今後は最寄りの弊社給油所のご利用をお願い申し上げます。配送業務は雄和・南・セルフ北にて引き続きします。これまでのご利用を感謝すると共に、ご理解をお願い致します。

■株式会社 JA新あきたライフサービス



■JA新あきたの概況《4月末現在》

●組合員数／(正)7,911人 (准)7,910人

貯金	910億9,456万円
貸付金	384億1,253万円
共済保有高	3,449億7,372万円
購買品供給高	4億1,998万円
販売高	7,813万円
出資金	36億8,606万円

■第2回理事会

●平成21年度第2回理事会が6月4日(木)に開催され、次の事項について審議されました。

議案第 1号	大口信用供与先への供与
議案第 2号	アパートリフォームローン覚書の締結
議案第 3号	平成20年度決算関係書類の承認
議案第 4号	平成21年度事業計画の変更
議案第 5号	JAバンク苦情対応要領の一部改正
議案第 6号	総代会提出議案「役員の選任」
議案第 7号	総会議事運営規程の一部変更
議案第 8号	平成21年度(有)新あきたファーマーズ事業 計画の承認
議案第 9号	平成21年産米独自販売米販売方針

「美しい地球環境を次世代へ・・・」
ストップ・ザ・温暖化!!

JAは、地球温暖化防止に取り組みます。

ノーネクタイで失礼します! エコドライブも実施中!

JA新あきたでは、6月1日～9月末日までの間、地球温暖化防止の一環として、クールビズによる業務に取り組んでいます。環境にやさしい冷房温度の設定、またノーネクタイによる軽装化を実施しておりますので、ご理解をよろしくお願い致します。

COOLBIZ

JA新あきた合併10周年記念企画

「ありが10ふれあい奉仕活動」 申込者募集!!

新あきたでは合併10周年記念事業として、組合員とのふれあいを目的に2日間職員が出張し、農作業の手伝いを行います。ぜひこの機会にお申し込みください。



時 期

平成21年7月～平成22年2月(土、日、祝日を除く)

8:30～17:00

場 所

組合員の農地

内 容

雑草除去作業、青果物の定植・収穫作業、袋詰め、箱詰め作業など

申込期日

利用希望日の1ヵ月前

■お問い合わせ・お申込みは・・・

最寄りの営農センターまたは農業ビジョン推進課(TEL.832-6652)まで

人形・ぬいぐるみ 供養祭

貴方の思い出が詰まったお人形やぬいぐるみを大切に供養いたします。参加費は無料です。

- 日 時…7月11日(土)
- 会 場…JA虹のホールレゼール追分
秋田市金足追分字海老穴266
- 受付時間…午前8時～午後1時まで
僧侶の読経は午後1時より

供養祭終了後、フラワーポットをプレゼント!

女性部直販コーナーも同時開催しております。

■お問い合わせ JA新あきた購買課 TEL.832-6658

平成22年度

JA秋田厚生連

看護職員募集【正職員】

JA秋田厚生連は県内9つの総合病院と農村医学研究所・訪問看護ステーション・居宅介護支援事業所等の施設を運営する総病床数4,011床、職員数約4,800人の連合会です。

- 募集職種及び人数
- 保健師 10名以内
 - 助産師 25名以内
 - 看護師 200名以内

受験資格
平成22年3月各養成学校卒業見込みの者、又は募集職種の国家資格を有する者

採用日
平成22年4月1日

- 勤務先(県内9病院)
- 鹿角総合病院(鹿角市)
 - 山本総合病院(能代市)
 - 秋田組合総合病院(秋田市)
 - 仙北総合病院(大仙市)
 - 雄勝中央病院(湯沢市)
 - 北秋中央病院(北秋田市)
 - 湖東総合病院(八郎潟町)
 - 由利組合総合病院(由利本荘市)
 - 平鹿総合病院(横手市)

採用試験日

- 一回目:平成21年7月30日(木) ◎応募締切:7月15日
- 二回目:平成21年10月10日(土) ◎応募締切:9月30日 ※以後随時

詳細は本会ホームページ(下記URL)をご覧ください。詳しい募集要項及び提出書類(本会所定様式)は、本会ホームページよりダウンロード願います。

〒010-0976 秋田市八橋南二丁目10番16号
 JA秋田厚生連 人事部人事課 018-864-2627・2628
 URL <http://www.akitakouseiren.or.jp> または、各病院【総務課】にお問合せ下さい。

秋田組合総合病院からのお知らせ

(財)秋田県農村医学会
第111回学術大会特別講演のご案内



秋田組合総合病院では、医療を取り巻く環境を広く知っていただくことを目的に特別講演を一般公開いたします。費用は無料で、どなたでもお聴きいただけますので、ぜひご参加ください。

- テーマ / 日本医療崩壊の深層と再生への処方箋
- 講師 / 埼玉県済生会栗橋病院副院長 本田 宏(ほんだ ひろし)
- 日時 / 平成21年7月11日(土) 午後1時~2時30分
- 場所 / 秋田市文化会館(2階小ホール)
- 入場料 / 無料

財団法人秋田県農村医学会 会長 林 雅人 学術大会会長 阿部 栄二

■お問合せ
秋田組合総合病院保健福祉活動室 TEL.018-880-3013まで

JA食農親子教室

子どもにとって健全な食生活は、健康で豊かな人間性を育てていく基礎となります。食の大切さと農業の役割を学ぶ楽しいイベントに親子で参加してみませんか?

参加無料

- 日時:平成21年7月27日(月) 11時~15時(予定)
- 会場:秋田県JAビル 9F大ホール
- 対象:小学生とその保護者
- 定員:25組(50名)
- 応募方法:参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号を記入の上ハガキまたはFAXにてお申し込み下さい。
- 応募締切:平成21年7月10日まで
- 応募先:〒010-1633秋田市新屋烏木町1-41 全農ビジネスサポート秋田支店「JA食農親子教室係」 FAX.018-888-8243

※応募数が多い場合は抽選となります。当選者には後日ご連絡いたします。※ご記入いただいた個人情報は、JA食農親子教室に関する目的以外で使用するものではありません。

イベント内容

- 午前の部:食農〇×クイズ
クイズ形式で食と農業について楽しく勉強
- 昼食:秋田県産のおいしい食事
- 午後の部:食農マジックショー
フラボ-中谷による野菜などを使った楽しいマジックショー



お問合せ 全農ビジネスサポート 秋田支店 TEL.018-888-8000 (担当:新山、保坂)

主催/JA 秋田中央会

アップルオーナー

大募集!!

リンゴの収穫を楽しんでみませんか!?

上新城石名坂にある市民観光りんご園では、りんごのオーナーを募集しています。木の管理は果樹園の所有者が責任をもって行います。収穫は10月中旬から11月中旬頃で、1本の木から120個程度の収穫があります。家族で収穫をお楽しみください。

■料 金

品 種	募集本数	利用料金	収穫時期
ふじ	150	1本9,000円(税込)	11月中旬
王林	50	1本7,000円(税込)	11月上旬
千秋	50	1本7,000円(税込)	10月中旬

申し込み 電話または、はがきで、希望する品種名・本数、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いて、7月31日(金)まで、JA新あきた北営農センターへお願いします。

JA新あきた北営農センター

〒010-0948 秋田市飯島西袋一丁目2-1
TEL.018(880)6622